

# 令和元年度 事業計画

学校法人 大阪成蹊学園

## I. 大阪成蹊学園の全体方針

### 1. 大阪成蹊学園の概要

大阪成蹊学園は昭和8年に創立された、86年の歴史を持つ総合学園です。現在、傘下に大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学、大阪成蹊女子高等学校、大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園を擁し、在籍者数約7,100人、教職員数約550人、卒業生総数が約115,000人の伝統と実績のある学園です。

#### (1) 建学の精神

大阪成蹊学園の建学の精神「桃李不言下自成蹊」は、司馬遷の『史記』に由来する故事成語で、「桃や李は何も言わないが、その美しい花や実にはひかれて人が集まってくるので木の下には自然と小道（蹊）ができる」という意味から、徳が高く尊敬される人のもとには多くの人が集まってくるという譬えです。このように徳があり人に慕われ信頼される「人間力」を備えた人を育てることを教育の基本目標としています。

#### (2) 行動指針 「『忠恕』の精神」

「忠」は誠実、「恕」は思いやりを表わし、誠を尽くし人の立場になって考え行動するという意味です。建学の精神を実践するにあたっての行動指針としています。

#### (3) 教育の基本理念

建学の精神「桃李不言下自成蹊」、行動指針「忠恕」に基づく、真に「人間力」のある人材の育成

#### (4) 人間力の定義

建学の精神で掲げた教育の基本目標である、「人間力を備えた人材の育成」を実践するにあたり、本学園では以下の通り「人間力」を定義しています。

- ① 強い身体・柔軟な心を持ち、生命力豊かな人
- ② 「読む」「書く」「話す」などの基礎能力を十分保有している人
- ③ 人と円満に話しつつ、かつ迎合しない主体性・独自性を持っている人
- ④ 世界を俯瞰し、広く大きく物事を捉えた適切な判断基準や問題解決ができる人
- ⑤ 強い好奇心や向上心を持ち、劣悪な環境をも克服する強い心を持つ人
- ⑥ 人に対する深い理解と忠恕の心を持ち、人との絆を大切にすること

### 2. 学園運営の基本方針

大阪成蹊学園では「人間力教育の推進」「教育の質保証」をめざして、平成27年度に教学改革会議を立上げ、またその下に20の教学改革プロジェクトを編成して、教育改革を推進しています。

令和元年度は、各プロジェクトの企画した具体的な施策を実施、検証し、改善の段階に進むこととなります。また、社会に期待され、信頼される教育機関として、学園が永続的に発展していくために、以下の通り学園運営の基本方針を掲げ、教員及び職員が一丸となった教職協働体制を強化し、取り組んでいきます。

- (1) 建学の精神に基づく人間力教育の推進
- (2) グローバル教育の推進
- (3) 教育の質向上に向けた改革の推進
- (4) 学生・生徒・園児への指導及び支援の充実
- (5) 学生・生徒の就職支援及び進学指導の推進
- (6) 研究の推進
- (7) 教職協働の推進
- (8) 入試広報の強化
- (9) ガバナンスの強化
- (10) 安定した財務体質の構築

## II. 教育部門の基本方針

### 1. 大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学

大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学の各高等教育機関においては、学園の建学の精神のもと、各大学・短期大学で定める3つのポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）に則った教学マネジメントに重点を置き、教育・研究等に係る基本方針を以下の通り掲げます。

#### (1) 建学の精神に基づく人間力教育の推進

大学での学びや卒業後の生き方を支える「人間力」を養成するため、以下の取組みを推進します。

- ① 「大阪成蹊 LCD（Literacy：知識、Competency：行動特性、Dignity：品格）教育プログラム」の推進
  - ア. 4年間（2年間）の学びの基礎となるアカデミックスキルを育む初年次教育の充実
  - イ. 人や社会を見つめ、感性と知的好奇心を育む教養教育の充実
  - ウ. 自分の生き方、卒業後に役立つ思考力、判断力などを育むキャリア教育の充実
  - エ. 理論と実践を往還し、実社会の多様な人々との関わりのなかで、確かな専門性を身に付ける専門教育の充実
- ② 「PBM（Personal Brand Management）プロジェクト」の推進
  - ア. 倫理観や品格、品性を養う教育の充実
  - イ. 「時を守り、場を清め、礼を正す」ことの習慣化

#### (2) グローバル教育の推進

これからのグローバル社会で必要となる、基本的な語学力、自らと異なる文化的背景を持つ人々への理解、国際感覚等を身につけるため、以下の取組みを推進します。

- ① グローバル・アクティブ・ラーニングプログラムの推進
  - ア. 学びの専門性に応じて海外で学ぶプログラムを充実
  - イ. 多くの学生の挑戦を促す奨学金の充実
- ② 正課教育と英語教育センターとの連携による英語教育の充実
- ③ ベルリッツによる学内英語学修プログラムの充実

### (3) 教育の質向上に向けた改革の推進

総長、学長を中心とする全学的な教学ガバナンス体制のもと、「人間力」教育の更なる充実を図るため、以下の取組みを推進します。

- ① 全授業におけるアクティブラーニング型授業の展開
- ② 学生が各授業の学びのイメージを持ち、計画的な学修ができる分かりやすいシラバスの充実
- ③ ルーブリックの活用など、成績評価ガイドラインに基づく客観的な成績評価の実施と、GPA制度の適切な運用
- ④ 授業評価アンケートの結果を踏まえた授業改善の推進
- ⑤ 共通教育及び学部・学科等の専門教育の更なる充実
- ⑥ 企業や自治体等、学外組織と連携した実践的な授業の充実
- ⑦ 一人ひとりの学生の成長を促すインターンシップ制度の充実
- ⑧ 各種コンペティションの開催による学修成果を発揮する機会の充実（プレゼンテーション大会、卒業研究・卒業制作発表会、英語スピーチコンテスト、ピアノコンペティション、読書コンクール、ビブリオバトル等）
- ⑨ 体系的なFD研修プログラムの充実
- ⑩ ティーチング・ポートフォリオ制度の導入による適切な教育業績評価の実施
- ⑪ 優れた授業実践を行う教員等の表彰の実施
- ⑫ 学修ポートフォリオの活用、PROGテストの実施等による学修成果の見える化の促進
- ⑬ 各種アンケートやアセスメントテスト、外部試験の結果等、学生の成長や変化を客観的な指標に基づき検証する教学IR体制の充実
- ⑭ 教学改革FSD会議、自己点検・評価委員会を中心とした、教学運営及び大学運営の適切性の恒常的な検証の実施

### (4) 学生への指導及び支援の充実

学修や学生生活の満足度

- ① アドバイザー・チューター教員による指導・支援の充実、オフィスアワーの効果的活用
- ② クラブ、サークル、ボランティアなど課外活動の活性化
- ③ 各種センター等の充実

ア. 学生支援センター

学生生活・人間関係の不安や、一人暮らしの相談など、広範囲に学生をサポート

イ. 留学生支援センター

各種申請手続き、授業の履修指導、日本語学修サポートなどの修学支援などを通して、留学生の学生生活をサポート

ウ. 教育研究支援センター

資格取得や国際交流などにおける活動をサポート

エ. こども教育支援センター

教育実習、保育実習、施設実習、介護等体験の学外実習の充実と学生の円滑な実習をサポート

オ. スポーツ開発・支援センター

学生の適切なトレーニングをサポート及び学生と地域社会等との連携に関する事業をサポート

カ. スポーツ&カルチャーセンター

学園のクラブ活動を積極的にサポート及びスポーツ振興や文化事業の実施による地域連携に関する事業をサポート

キ. 英語教育センター

正課外における英語学修機会を提供。英語学修に特化した学科等の学生を対象とした英語関連の個別指導を実施

ク. 音楽教育センター

音楽教育の充実を図るための企画・運営や、学生のピアノ演奏技術の習得を指導

ケ. 教育人材育成センター

教員採用試験対策のアドバイスができるセンタースタッフが、小中高教員・保育者をめざす学生をサポート

コ. 教職センター

保健体育教員の現役合格を目指して学生によるコアチームを結成するなど、専門スタッフが採用試験対策をサポート

サ. 学習支援室

就職に必要な基礎学力の向上や、夢に向かって自発的・意欲的に学修したい学生の学びをサポート

シ. ラーニングコモンズセンター

授業課題や学修相談、就職に向けた基礎学力や SPI テスト対策に係る学修まで、幅広い学びをサポート

ス. 学生医療相談

アスリート特有のスポーツ障害への対応からリハビリ・予防法・栄養指導など、競技者としての生活をサポート

セ. 保健センター

学生生活を健康で安全に過ごせるよう、健康診断、健康相談、急病・負傷時の応急処置などを実施

ソ. 学生相談（カウンセリング）室

カウンセラーによる、学生の心の悩みへのカウンセリングを実施

(5) 学生の就職支援及び進学指導の推進

ア. 教職協働による就職指導・支援体制の強化

イ. 学部、学科の特色に合わせた就職指導・支援の強化

ウ. 就業力を高めるインターンシップの促進

エ. キャリア意識醸成に向けた年次別ガイダンスの開催

オ. 就職のための資格取得の促進

カ. 就職希望者別の対策講座の充実

- キ. キャリア形成を支える卒業生との同窓会等ネットワークの形成
- ク. 企業との関係強化による就職先の開拓
- ケ. 学園内合同企業説明会の強化
- コ. 学内企業セミナーの充実
- サ. 教育人材育成センター・教職センターとの連携による教員採用試験対策の充実

#### (6) 研究の推進

- ① 研究紀要の充実
- ② 学会等での研究発表、論文投稿の推進
- ③ 科学研究費補助金等の外部資金獲得の推進
- ④ 共同研究の推進
- ⑤ 研究成果への表彰等の推進

#### (7) 教職協働の推進

- ① 経営会議等重要会議の推進
- ② 本部長制の推進
- ③ 教学運営における教職協働の推進

#### (8) 入試広報の推進

- ① 学生のニーズに沿った教育内容の充実と情報発信
- ② 高大連携の充実・強化
- ③ 多面的・総合的な入学者選抜方法の検討

## 2. 大阪成蹊女子高等学校

大阪成蹊女子高等学校は女子教育に特化し、キャリア教育と人間力教育を強固に推進しながら、これからのグローバル時代に対応できる力を育むことをめざし、以下の4点を平成31年度事業運営における基本方針とする。

#### (1) 学校教育力の向上（建学の精神に基づく人間力教育の推進、教育の質向上に向けた改革の推進、グローバル教育の推進）

- ① 本学の特色であるキャリア教育、「キャリアデザイン」科目において人間力(社会人基礎力)育成を強化
- ② 本学の特色であり強みである2学科5コースの教育内容の充実
- ③ LINESドリルの実施、ネット上の情報を活用した検索学習、探究学習などICTを活用した教育力の向上
- ④ 新入生への中学校学習内容の復習等、学力の定着に向けた指導の強化
- ⑤ 全教員の自己点検評価の徹底とFD研修により、教員の指導力強化を図り、生徒の学力を向上
- ⑥ 海外修学旅行、台湾との国際交流、ホームステイ型語学研修等の継続した実施によるグローバルなキャリア教育の推進

- ⑦ ALT を導入した正課の英語教育に加え、放課後の 1 年生全員出席の「ベルリッツ英会話教室」の実施による使える英語力の向上
- ⑧ 全教科でのルーブリックを活用した学習評価の推進
- ⑨ 2020 年度に新たに設置する「音楽コース」、「英語系レーン」の教育内容の検討

#### (2) 生徒募集の推進

- ① 各コース、レーンの特色を明確化した広報展開
- ② 併設大学・短期大学への内部進学を打ち出した広報展開
- ③ 新コース・レーン（「音楽コース」、「英語系レーン」）の広報展開

#### (3) 学園内連携の促進

- ① 学園内連携授業を 100 コマ以上設け、学園内の高大・高短連携を推進
- ② 保護者に対し併設校の紹介・説明を実施し、内部進学への理解を深める等連携を推進

#### (4) 生徒指導の強化

- ① 生徒数増に対応した生徒指導体制の構築
- ② 課外活動の活性化(部活動の加入率アップ)、指導者の見直し
- ③ 生徒のカウンセリング強化を図るため養護教員の複数配置を維持

### 3. 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

こみち幼稚園は、楽しい「遊び」を通して、幼児の心情・意欲・態度を育みながら、「強く明るく考える子ども」を育成することを教育活動の目標とし、以下の 8 点を令和元年度事業運営における基本方針とする。

#### (1) 心の教育

- ① 幼児が、豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、善悪の判断などに繋がる力を育む  
保育実践の追及

#### (2) 道徳性の芽生えを育む

- ① 幼児が生活の中で、ルールやマナーに気付くような関わりや環境構成の工夫及び充実
- ② 人に親切にする、優しくするなどの気持ちが芽生える温かい雰囲気づくりの促進

#### (3) 健康・安全教育と保健室機能の充実

- ① 平成 29 年度に作成した「ほけん（保健）のしおり」を更なる活用
- ② 基本的な生活習慣に関する指導法の研究を行い、幼児の健康管理や安全管理についての理解と意識を向上
- ③ 養護教諭を中心とした保健衛生管理の充実
- ④ 保護者説明会や教職員に対する安全に関する研修と避難訓練の実施

(4) 食育の推進

- ① 短期大学栄養学科等との連携推進を行ない、食の大切さに気付き、進んで食べようとする気持ちを育成

(5) 自然環境と体験学習の充実

- ① 季節感のある環境を構築し、幼児の身近な動植物に対する興味や関心を積極的に促す保育の実践

(6) 音楽・運動・造形表現遊びの充実

- ① 表現意欲を発揮できる遊具、用具などを準備し、自然・音楽・絵画等、美しいもの、優れたもの、感動するものとの出会いを促進し、各専門講師と連携し、幼児理解を深め、個々に合った指導方法を実践

(7) 大学、短期大学、高校との連携プログラムの推進

- ① 大学の教育学部、短期大学の幼児教育学科、高校との連携内容の見直しと改善を行ない、幼児や学生にとって望ましい経験となる教育実習内容を検討
- ② 大学の教育学部や芸術学部、短期大学の幼児教育学科や生活デザイン学科教員との教育観の共有

(8) 園児募集の強化

- ① 教育内容及び保育内容の充実と情報発信による3歳児クラス、2歳児クラスの募集力強化



### Ⅲ. 経営計画

#### 1. 2020（令和2）年度 学生・生徒・園児募集

各学校とも入学定員を次の通りとする。

（単位：人）

学校・幼稚園名		入学・募集定員	計
大阪成蹊大学	経営学部 (マネジメント学部を名称変更)	300	695
	経営学科 (マネジメント学科を名称変更)	110	
	スポーツマネジメント学科	110	
	国際観光ビジネス学科	80	
	芸術学部	190	
	造形芸術学科	190	
	教育学部	200	
	教育学科 初等教育専攻	140	
	中等教育専攻	60	
	大学院 教育学研究科	5	
びわこ成蹊スポーツ大学	スポーツ学部	360	370
	スポーツ学科	360	
	大学院 スポーツ学研究科	10	
大阪成蹊短期大学	生活デザイン学科	50	680
	調理・製菓学科	100	
	栄養学科	80	
	幼児教育学科	280	
	観光学科	90	
	グローバルコミュニケーション学科	30	
	経営会計学科	50	
大阪成蹊女子高等学校			400
大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園			90
学園合計			2,235

#### 2. 中期経営計画

令和元年度以降の中期経営計画は次の通りとする。

# 中期経営計画

(単位：百万円)

費目/年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度			
	補正予算	当初予算	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	2018年比		
教育活動 外収支	学生生徒等納付金	6,920	6,960	40	7,248	288	7,598	350	7,737	139	7,817	80	897
	補助金	1,733	1,605	▲128	1,675	70	1,681	6	1,698	17	1,697	▲1	▲36
	その他	437	323	▲114	284	▲39	313	29	372	59	351	▲21	▲86
	収入合計	9,090	8,888	▲202	9,207	319	9,592	385	9,807	215	9,865	58	775
	人件費	5,175	5,258	83	5,311	53	5,372	61	5,412	40	5,394	▲18	219
	退職金	97	39	▲58	40	1	66	26	127	61	127	0	30
	教育研究経費	2,570	2,462	▲108	2,617	155	2,641	24	2,618	▲23	2,615	▲3	45
	(うち、減価償却費)	619	680	61	697	17	682	▲15	651	▲31	651	0	32
	管理経費	748	729	▲19	738	9	732	▲6	728	▲4	728	0	▲20
	(うち、減価償却費)	47	50	3	50	0	46	▲4	43	▲3	43	0	▲4
その他	0	0	0	1	1	1	0	2	1	1	▲1	1	
支出合計	8,590	8,488	▲102	8,707	219	8,812	105	8,887	75	8,865	▲22	275	
教育活動収支差額	500	400	▲100	500	100	780	280	920	140	1,000	80	500	
受取利息・配当金	0	1	1	0	▲1	0	0	0	0	0	0	0	
借入金等利息	51	47	▲4	41	▲6	27	▲14	23	▲4	20	▲3	▲31	
教育活動外収支差額	▲51	▲46	5	▲40	6	▲27	13	▲23	4	▲20	3	31	
経常収支差額	449	354	▲95	460	106	753	293	897	144	980	83	531	
特別収入 (売却益、設備補助金等)	120	120	0	0	▲120	35	35	0	▲35	0	0	▲120	
特別支出(処分損)	338	0	▲338	0	0	0	0	0	0	0	0	▲338	
特別収支差額	▲218	120	338	0	▲120	35	35	0	▲35	0	0	218	
基本金組入前当年度収支差額	231	474	243	460	▲14	788	328	897	109	980	83	749	
現預金残高	4,212	4,121	▲91	4,388	267	4,926	538	5,911	985	6,934	1,023	2,722	
第2号基本金	300	450	150	600	150	750	150	750	0	750	0	450	
現預金残高+第2号基本金	4,512	4,571	59	4,988	417	5,676	688	6,661	985	7,684	1,023	3,172	
借入金残高	4,847	4,407	▲440	3,842	▲565	3,286	▲556	2,915	▲371	2,569	▲346	▲2,278	
人件費比率(経常収入)	58.0%	59.6%	1.6%	58.1%	-1.5%	56.7%	-1.4%	56.5%	-0.2%	56.0%	-0.5%	-2.0%	
教育研究経費比率(事業活動支出)	28.6%	28.8%	-4.5%	29.9%	1.1%	29.9%	0.0%	29.4%	-0.3%	29.4%	0.0%	0.8%	